



平成28年1月28日

各位

会社名 株式会社 NSD
 代表者名 代表取締役社長 今城 義和
 (コード番号 9759 東証1部)
 問合せ先 常務取締役 近藤 潔
 (TEL 03-3257-1250)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年3月期第3四半期決算において、特別損失を計上するとともに、平成27年4月30日に公表いたしました平成28年3月期通期の業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 連結決算（減損損失の計上）

当社の連結孫会社で北米にてテレヘルス(遠隔医療)事業を展開しております Viterion Corporation (以下、VC)について事業計画の見直しを行った結果、のれんの未償却残高の全額ならびにソフトウェア資産等の全額を減損し、連結決算において6億25百万円の減損損失を特別損失に計上いたします。

(2) 個別決算（関係会社株式評価損の計上）

当社の保有するNSD International, Inc. (当社100%連結子会社であり、VCの100%親会社)株式の実質価額につきましては、VCの各期の欠損を反映し低下しておりましたが、今般のVCにおける減損損失の計上に伴いVC株式の実質価額が簿価比50%以下となることより、「金融商品に関する会計基準」に基づき、個別決算において17億84百万円の関係会社株式評価損を特別損失に計上いたします。

(※) 連結決算と個別決算における特別損失計上額の差について

個別決算に計上される関係会社株式評価損には、VCの各期の欠損額が含まれていますが、他方、連結決算では、この欠損額は既に各期の連結業績に反映されているため、今回、特別損失として連結決算に計上される金額は、上記6億25百万円となります。

2. 業績予想の修正

(1) 平成28年3月期通期(累計) 連結業績予想の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	46,500	5,600	5,700	3,500	79.83
今回修正予想 (B)	51,400	6,200	6,300	3,100	70.75
増減額 (B - A)	4,900	600	600	△400	-
増減率 (%)	10.5	10.7	10.5	△11.4	-
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	42,990	5,144	5,326	2,973	72.04

(2) 平成28年3月期通期(累計) 個別業績予想の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	41,000	5,600	5,800	3,700	84.27
今回修正予想 (B)	44,900	6,200	6,400	2,400	54.77
増減額 (B - A)	3,900	600	600	△1,300	-
増減率 (%)	9.5	10.7	10.3	△35.1	-
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	39,542	5,486	5,795	3,937	95.39

3. 修正の理由

VCでは、北米テレヘルス(遠隔医療)事業におきまして、かねてより新製品の開発と早期の市場投入に取り組んで参りましたが、主要取引先(米国退役軍人省、以下同じ)からの厳格なセキュリティ要求があり開発に時間を要したこと、FDA(米国食品医薬局:米国政府機関)への新製品登録申請には、このセキュリティ要件を達成する必要があり相応の時間を要したこと、主要取引先からの同新製品の採用承認のための審査手続きが長期化していることを勘案し、事業計画の見直しを行った結果、保守的観点から米国会計基準に基づき、のれんならびにソフトウェア資産等の全額を減損することといたしました。

なお、VCにおきましては、今期中に主要取引先での新製品採用の承認と販売開始を見込んでおり、今般ののれん等の減損処理と相まって、業績は次期以降着実に回復してくるものと判断しております。

当社グループの主力であるシステム開発事業においては、主に大手金融機関向けシステム開発の受注環境が堅調に推移し、売上高、利益ともに予想を上回る見込みですが、上記のとおり、連結決算での減損損失の計上、個別決算での関係会社株式評価損の計上を踏まえ、平成27年4月30日公表の平成28年3月期通期業績予想を修正いたします。

なお、平成28年3月期の期末配当につきましては、当初予定の1株当たり35円に変更はありません。

※上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上